

# 令和6年 自己評価・施設関係者評価表

社会福祉法人 松樹会  
 幼保連携型認定こども園  
 松浜こども園

## 1. 本園の教育・保育目標

発達段階を考慮しつつ、一貫した計画をもとに教育・保育を連続的に展開し、卒園までに身につく事を目指します。

**思いやりと協調性のある子**

- ・相手を尊重し思いやりの心を持つ。
- ・優しい言葉がけや励ますなどして他者をいたわる。
- ・良いこと悪いことに気づき考えて行動する。
- ・礼儀を知る。
- ・友達と思いや考えを共有し、協力しながらやり遂げる。

**心もからだも元気な子**

- ・身の回りのことを自分でする。
- ・健康な生活リズム、習慣を身につける。
- ・情緒が安定し意欲的に遊ぶ。
- ・体力とバランス感覚を養い、運動能力を向上する。
- ・心のコントロールと我慢ができる。
- ・すべきことを自覚し、創意工夫しながら行動する。(自立心)
- ・諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、さらに挑戦する。

**思いやりの心と未来を生き抜く力を培う**

**社会に生きる**

- ・日本の国柄、伝統的な文化に触れ、我が国や地域社会との繋がりを意識する。
- ・尊敬と感謝の気持ちを持つ。
- ・お手伝いなどをして自分が役に立つことを喜ぶ。
- ・公共の施設や公共の物の正しい使い方を覚え、大切に扱うことを学ぶ。

**考える子ども**

- ・心を動かす体験を通し、自分なりの感性と想像力で表現する。
- ・言葉を豊富に獲得し、豊かな情操・思考力・表現力を身につける。
- ・他者の意見も参考にしながら判断し、自分の考えをよりよいものにする。
- ・文字をはじめ数量や図形、記号、標識などを理解し生活に役立てる。
- ・自然や物の性質、仕組みなどをよく観察し、好奇心や探究心をもつ。

## 2. 本年に取り組む重点事項

課題	具体的な取組み方法
【興味関心】を引き出す	遊びの提案の中にも、参加に課題を残す場面もある。子供の興味のレベルを観察し・何をどのように必要なのか分析・取組の提案というサイクルで興味関心を引き出したい。

### 3. 評価項目の達成及び取り組み内容

評価項目	評価の着眼点	取組状況
保育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建学の精神や教育目標に基づいた運営がなされているか</li> <li>・ 教育目標を踏まえて教育課程が編成・実施され、その考え方について教職員間で共有されているか</li> <li>・ 年間の指導計画や週案などが適切に作成されているか</li> </ul>	<p>入園0歳児から卒園に至るまで一貫した計画を持ち、年間保育指導案から月・週案に連動するよう作成されている。どのクラスの計画・実施状況や反省評価を含めた情報も、どの職員も見ることができ共有している。</p>
指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定こども園教育要領の内容に沿った幼児の発達に即した指導が適切に行われているか</li> <li>・ 環境を通して行う教育が適切に実施されているか</li> <li>・ 幼児との信頼関係の構築が図られているか</li> <li>・ 幼児の主体的な活動が尊重されているか</li> <li>・ 遊びを通じた総合的な指導が適切に行われているか</li> <li>・ 一人一人の発達の特性に応じた指導が適切に行われているか など</li> </ul>	<p>教育要領に沿った保育計画を、子供の発達に応じて保育実践している。保育計画でクラス全体の運営を図るが、同時に個別配慮の視点を欠くことなく養護と教育の両輪が成り立つよう配慮している。</p> <p>幼児の主体的なあそびの活動については、環境設定や心情・意欲・態度に寄り添い達成感が得られるよう意識し、都度見直している。</p> <p>総合性は保育目標にも盛り込む「10の姿」を得られるよう日々の生活や活動を送っている。</p>
特別支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援教育の為、研修を実施しているか</li> <li>・ 特別な支援を必要とする幼児について、個別の指導計画や個別の教育支援計画が適切に作成されているか</li> <li>・ 特別な支援を必要とする幼児について、家庭及び医療や福祉などの関係機関との連携が適切に図られているか</li> </ul>	<p>支援を必要とする子供も多く在籍するが、園として発達支援に強くなる必要を感じ、重点課題とし、専門の研修を積み研鑽している。</p> <p>無理のないクラス活動で、かつ、必要な子には個別の活動を準備する。</p> <p>専門機関との連携も図り個別のケアをしている。</p>
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法定の学校安全計画や、学校防災計画等は作成、実施されているか</li> <li>・ 園舎や通園路等の安全点検や教職員・幼児の安全対応能力の向上を図るための取組が定期的に行われているか</li> <li>・ 関係機関、団体との連携を図りつつ、幼児の安全を確保するための具体的な取組が行われているか</li> </ul>	<p>立地や地域環境を把握しながら、想定を変えての避難訓練をその都度行っている。</p>
研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園内の課題をふまえ研修を実施しているか</li> </ul>	<p>各団体主催の研修の他に、園主催の</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育研究を全教員が行うことや、保育研究を継続的に実施することなどを通じ、指導改善に全園的に取り組んでいるか</li> <li>・教員の指導の状況を的確に把握するとともに、指導が不適切な教員への対応が適切になされているか</li> <li>・管理職が定期的に保育観察を行い、教員に対して適切な指導・助言をしているか</li> </ul>	<p>外部講師依頼の研修・職員内研修を行った。</p> <p>不適切保育を防ぐため、毎日「私たちはいつも」から始まる保育に対する姿勢を読んでから業務にあたる。それぞれの反省評価や現場での動きからアドバイスできるよう心掛けてはいるが、確実な指導・助言には課題を残す。</p>
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の様々な情報が、分かりやすく、かつ適切な分量で提供されているか</li> <li>・幼児等の個人情報の保護と積極的な情報提供とのバランスに配慮しているか</li> <li>・園便りや掲示板等を用い、教育活動について、園や子育てに関する様々な情報の伝達・公開が適切に行われているか</li> <li>・ホームページの活用をはじめ、広く地域住民等に園に関する情報を周知し、提供するための取組を行っているか</li> </ul>	<p>冊子状の園だよりを毎月発行配布し、保育のねらいと結果や反省評価が見られるよう掲載している。子供の成長が理解できるよう、日々の保育内容が見えるよう工夫している。HPは外部の方向けに概略を説明している。</p>
給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事やおやつは、素材から手作りしたものを提供するように努めているか</li> <li>・子どもが主体的に偏食を直せるよう工夫をしているか</li> <li>・子どもが落ち着いて食事を楽しめるように、食事をするための雰囲気づくり等に配慮しているか</li> <li>・子どもの食事の状況を把握するため、調理担当者は食事の様子を見る機会を設けているか</li> <li>・食事は、季節感のある献立や食材を利用しているか</li> <li>・発育期にある子どもの食事の重要性と、園で提供する食事への配慮を保護者に伝えているか</li> <li>・厨房内における日々の業務反省評価をしているか</li> </ul>	<p>おやつも含め給食は手作りで提供している。さらなる給食の充実をはかり、行政の献立から離れ、和食を中心により充実させた献立にしている。残食や偏食も減っている。</p> <p>和食を中心に、また、サイクル献立という食のドリル学習で食材・調理の経験を積み、身体を作るうえで理想的な和食の学習をしていく。手間や経費がかかるが食に力を入れている。</p> <p>保護者に向けた保育参観での給食提供も再開し反響を頂いている。</p>
施設・整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭や園舎、敷地は幼児に適した面積か</li> <li>・安全にかかる配慮は適切か</li> <li>・遊具の種類や設置状況は適切か</li> </ul>	<p>面積は法定以上に広い。1・2階とも地上階という特殊な立地で安全。必要に応じて教具も増やす。</p>

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本年に取り組む重点事項を【子供の「興味関心」を引き出す】とし、環境設定等の改善を目指し取り組んだ。本来、子供達は多様な経験を積みつつ、思った事ややってみようとする意欲から興味関心を持ち、遊びを深める。そこにはまず、遊びたくなるような環境作りが必要で、大人にどこまで用意があるかがポイントになる。

一方で環境を整えても偶発的な要素のみで構成する方法では、子供の発達段階に合わせた長期的、短期的な見通しとなる保育計画を持ちながら教育保育する視点に欠ける。興味関心を引き出す遊びをするには、環境と見通し両方を併せ持つ必要がある。

当園の活動には保育計画にのっとりカリキュラム的な要素が多い。よく園にお招きする外部講師からは、こうした子供の能力を発達段階に合わせ伸ばそうとする活動が当園に多くあるが、講師からのアドバイスとして子供の自由な時間に自分の好きな遊びができる学校で言うところの休み時間のような要素を加えると良いだろうとのことだった。

そこで、現行未満児の部屋で行っている遊びの環境設定を、特に先行して年長クラスをモデルとして、自由に遊べる時間の確保と遊びに使う材料集めに取り組んだ。結果として、遊びに使う廃材は毎日消化しており、その分、子供達の遊びの要素が広がったようだ。なかなか集団の中で指示が通りにくく、充分遊びを経験できない子供にも欲求を満たす効果があり、輪を乱す事が減ったようだ。

まだまだ質的にも量的にも足りていないが、今後、豊富な廃材等を集め、子供達が自然と共同し、会話と知恵で遊びの幅と深みがでるよう工夫したい。

職員が子供の興味関心をふくらませ様々な経験や活動につないでいく事は、実は高度な教育保育技術を必要とされる。成り行き任せの偶発的進行であるようで、発達段階の見通しと達成項目を的確にとらえ、必要な環境構成の準備と、育ちの連続性の中で子供を観察・分析・取組と継続してとらえる必要がある。偶発的遊びであっても根拠性が求められるのが専門性と言える。

大人が発想を豊かにし柔らかい感性で遊びにのぞみたい。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組み方法
遊びの発想の広がり と共同活動	集団活動で学ぶことの良さは残しつつ、一人ひとりからの発想と共同的な関りからの発想とで、より遊びの幅と深さを求めたい。

#### 6. 施設関係者評価委員会の意見

##### 評価①

各項目の取組状況は、ほとんどの項目で着眼点以上のきめ細かな取組をされており、さらには成果も出ていることから、ねらいや計画がしっかりと達成でき高い実効性が伺えます。

本年度は、子どもの「興味関心」を引き出すというテーマで重点的に取り組まれており、保育環境を整えつつもその環境を活かす計画や職員の質の向上を常に意識されていることから、今後どのようにクラスの中で「遊び」が展開されていくのか楽しみです。

また、発達支援におかれましても、手厚い支援・ケア等が伺え、非常に素晴らしい内容だと思

いますので、今後も手厚い支援を継続していただけますようお願いいたします。

## 評価②

先生方にはいつも温かく見守っていただき感謝しております。

### 行事について

親子遠足○毎年楽しみにしているので雨天中止だと子供達も残念ですし雨天の場合、他の施設など検討していただけたらと思います。

お遊戯会○子供達の踊りが行事の中でも 1 番楽しみでしたので復活して欲しいです！！お遊戯会、音楽会と続いていて先生方のご負担もあり大変だったと思うのですが時期の変更や2つを一緒になどご検討していただけたらと思います。

お誕生日会○保護者 1 名のみ参加は変わらないのでしょうか？普段の生活が見れるのはお誕生日会しかないなので、両親で見に行きたいです。

### 給食について

サイクルメニューとなり我が子は最初苦手でも月末には食べれるようになっていくと聞き素晴らしい取り組みだと思います。こども園では頑張って色々な食材、メニューを克服しているのでとても感謝しています。箸の持ち方もまわりのみんなが正しい持ち方しているのを見て我が子もちゃんと持ちたいという気持ちになりすぐ正しく持てるようになりました！！本人のやる気次第とは思いますがすぐ出来るようになりびっくりしました！！環境に感謝です！

## 評価③

○園の子供たちはたくさんいるのに、違うクラスの先生方や給食の方までも、子供たちの名前を呼んでいる場面をよく見かけます。『園のみなさん、みんなで、子供たちをよくみていただいているんだなあ。』とありがたい気持ちになったことを覚えています。

日々の送り迎えやお誕生会などで子供たちと先生方を見てみると、子供たちによりそい、対応していただいていると感じています。

子供が何か悪いことをしてしまったとしても、厳しく対応していただけることも、私はありがたいと思っています。良いこと、悪いことを学べる場となり、礼儀も学べているのではと感じています。

○園で工作したおもちゃをよく持ち帰ります。『こうやって遊ぶんだよ！』と嬉しそうに教えてくれて、楽しく遊べます。また家にあるもので作れそうなものがほとんどで、壊れてしまってもまた作れるので、親子で楽しませてもらっています。

○子供がお友だちの事を『○○くんと○○ちゃんと、みんな仲間なんだよ』とよく教えてくれます。様々な園での活動を通して、お友達を思いやる心、協力しながら何かをやりとげているから出る言葉だと思います。

○最後に個人情報という点でひとつあります。

夏服の名札についてです。前と後ろに大きくフルネームをつけていることが心配な点です。保育のしやすさからは、大きな名札が前後にあると良いのかもしれませんが、園舎も道路沿いに移動し、高いところから覗き込めば見えるかもしれないなあと思うと、名前と顔が一致してしまうという点で心配なところではあります。

小学校では、不審者にそなえ、個人を特定されないように名札を学校に置いて登下校していま

す。そういった点でも、心配でした。

#### 評価④

子どもたちとの信頼関係の構築を図り、幼児の主体的活動につながるよう、先生方の日々の連携を感じる。

環境設定などに配慮し、園児がより達成感を感じられるよう、都度、保育者全員で努力している姿がとても良い。テーマの一つでもある、「ひとり一人の発達に合った保育」がまた一つ深まった気がする。

食事面においても、食事を楽しめるよう工夫がなされており、まさに取り組まれている、サイクル献立は魅力的である。

施設関係者：保護者の代表の方 法人監事

#### 7. 令和6年公開保育の取組状況

保育参観 1月17日 2月14日 3月13日 4月24日 5月29日 6月12日 7月  
17日 8月7日 9月11日  
10月16日 11月13日 12月11日  
・この他、親子参加行事を実施

